一般社団法人 神奈川県作業療法士会

県士会ニュース

No. 212 [2021.12]

Kanagawa Association of Occupational Therapists — KAOT —

Contents

TOPIC
7 学術部スキルアップ研修班報告
1 巻頭言
2 今年度は神奈川県作業療法士会 40 周年です！
2 カナドラ！《県士会ニュース出張版》
3 「県士会による地域支援活動の活動状況調査」ご協力のお願い
3 理事会議事録
5 2021 年度理事会 部員承認リスト
6 各部からの報告
7 求人案内
8 事務局からのお願い
8 LINE 公式アカウントはじめました！
8 編集後記

巻頭言

いよいよです。2年分の思いを込めた県学会

参加登録期間 12 月 3 日 13：00 まで [注1]

第18回神奈川県作業療法学会　広報部　出口 弦舞
（国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科）

新型コロナの予防接種も進み、我が職場である大学でも通常に対面授業が行われています。臨床実習はまだ以前のようにまでは出来ませんが、昨年よりはかなり良い状況になっています。感染対策をしながらいかに通常の暮らしに近づけるか、医療従事者として我々がこの 1 年以上向き合ってきた努力が少しずつ成果を上げてきているようにも感じます。そのような努力の成果の一つが県学会の「復活」です。厳しい状況下であっても、研鑽の歩みを止めず発展していくにはどうすべきか、実行委員会は準備を進めて参りました。その県学会は今号がお手もとに届く際にはわずか数日後に迫っております！参加される皆さまはぜひお楽しみ下さい。多様性とは何か、OT が向き合うべきものは何かを皆様と共に考えるコンテンツを用意してあります。特別講演（県民公開講座）、教育講演、シンポジウム E-Lecture あわせて 10 講演、一般演題、チャレンジ発表、E-Presentation の 47 演題でお送りします。

本学会では、全ての講演と演題の**アーカイブ配信を行います。学会期間終了後も 12 月 26 日まで配信予定**です。多様なライフステージに合わせて、好きな時間、好きな場所で視聴が可能です。参加されない会員の方も県民公開講座は HP（講演数日後より公開）より視聴可能です。お誘い合わせの上、ご視聴下さい。

注 1：2 次参加登録期間となる為、演題視聴のための個人 ID の発送が 12 月 4 日の学会開始日以降となります。ご了承ください。

2021年12月4日(土) 12月5日(日) WEB学会

参　加　登　録

12 月 3 日 13：00 まで　参加登録は学会ホームページより→

アーカイブ配信

11 月中旬より配信中！！　12 月 26 日 終了予定

今年度は

神奈川県作業療法士会 40周年 です！

Celebration

2021年10月、「40周年記念事業」プロジェクトチーム始動！
2022年、「40周年記念事業」開催決定！

この先の 10 年を見据えて、さらに会員一人ひとりがつながり、成長していける県士会を目指して、会員の皆様だけでなく、県民の皆様にもご参加いただける企画を検討しています。
これからの県士会ニュースやチラシ、ホームページなどで随時お知らせしていきますので、ご注目ください！

カナドラ！《県士会ニュース出張版》

～ 自動車運転支援に関連する書籍やパンフレット等の紹介 ～

制度対策部自動車運転班　渡邉 隼人

制度対策部自動車運転班のブログ「カナドラ！」（下記 URL よりブログチェックもお願いします！）の県士会ニュース出張版第 5 回になります。今回は文字では伝わりにくい部分もありますが、自動車運転能力評価の中で実際の運転操作に近いドライブシミュレータでの評価を紹介したいと思います。

導入されている病院も増えてきていますが、ドライブシミュレータにも種類があります。費用や設置場所、用途に合わせて使い分けられていることが多いです。評価で用いられている代表的なものとしては「Honda セーフティナビ・運転能力評価サポートソフト」「SiDS」「三菱 DS シリーズ」の 3 種が挙げられます。Honda 社製及び SiDS に関してはパソコンとハンドルコントローラーを使用し、反応検査や走行検査を行なうものです。置き場所は小さく済みますが、ハンドルやアクセル・ブレーキが実車と異なるため、慣れに時間がかかります。一方で三菱 DS シリーズは非常に大きく高価ではありますが、シートやハンドル・アクセルなどは実車と同等ですのでより近い感覚での評価が行なえます。

Honda 社製のシミュレータでは、大きく「反応検査」と「走行時の評価」が可能です。「反応検査」は画面上に表示された指示に素早く・正確に操作をするもので、反応までの時間や正確さ・誤反応の回数を計測できます。また難易度も画面表示を見て判断し単一の操作をする単純なものから、緩やかなカーブが続く道を走行しながら赤・黄・青の三色を判断し操作を変えるものまで様々です。

「走行時の評価」は実際の街中を走行する中で、設定されている危険な場面を事前に予測したり回避したりしながら安全に走行できるかや標識などの道路交通法を順守できているかを確認します。また、ハンドルやアクセル・ブレーキ、ウインカーなども使用するためその操作や走行時の特徴（左右への寄りやすさ、右左折時の速度・位置、加減速、停止位置など）をとらえることもできます。当然、病前からの運転特徴なども反映されやすい部分になりますが、あくまで道路交通法を順守した視点での評価を行ないます。

どの評価も結果を印刷したりリプレイ動画を再生できたりと、その場でのフィードバックも具体的に振り返りながら実施できます。また、過去分も振り返ることができるので、現状との比較もしやすい部分もあります。

以前の記事にも記載していますが、ドライブシミュレータは評価の一手段であり、これができたから・できなかったからで単純に判断できるものではありません。しかし机上検査だけでは見きれない高負荷下での多重課題も評価できますし、実際の運転操作に近い動作・判断の評価もできます。いろいろな評価を踏まえて、総合的に評価をしていけることが理想かと思います。

最後に、毎掲載でのお知らせです。神奈川県内の自動車運転支援実施状況把握のためのアンケートを継続的に実施しています。ご協力をお願いいたします！

◀神奈川県の自動車運転に関するアンケートはこちら

ブログ版カナドラはこちら▶

「県士会員による地域支援活動の活動状況調査」ご協力のお願い

地域包括ケアシステム推進委員会・エリア化推進委員会

【趣旨】

（一社）神奈川県作業療法士会は「地域に密着した作業療法を一人ひとりの作業療法士が実行しよう」をスローガンに、県・市町村と連携しながら地域支援活動を推進しております。

県士会が行う地域支援活動としては、平成 28 年より横浜市と連携して「地域リハビリテーション活動支援事業」をスタートし、令和 2 年には神奈川県の委託事業として「住民主体の通いの場への専門職派遣モデル事業」を実施しております。作業療法士による地域支援活動への期待は年々高まっており、今後は県・市町村からの依頼も増加していくことが見込まれます。

そこで、地域支援活動の事業拡大や仕組みを創成するために、会員の皆さまの活動状況について調査を行うことにいたしました。調査については約 3 分で回答できる内容となっております。

お忙しいなか、大変恐縮ではございますが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【調査期間】

令和 3 年 12 月 1 日～ 12 月 31 日

【調査対象】

（一社）神奈川県作業療法士会会員

【調査方法】

QR コードまたは県士会ホームページの登録フォームよりご入力ください。

登録フォーム URL：
https://forms.gle/KrPYUKV2mhhuhWBi6

【結果の公表期間】

令和 4 年 2 月 1 日～ 2 月 28 日

【結果の公表方法】

県士会ホームページおよびメールにてお知らせいたします。

(回答内容の取扱い)

ご回答された内容に関しては、（一社）神奈川県作業療法士会の事業のみに使用し、無断で他に流用すること等はいたしません。また、回答者が不利益を被らないように取り扱うとともに、貴重な情報を地域支援活動推進のため、有効に活用させていただきます。

理事会議事録

★ 2021 年度第 2 回理事会　議事録　2021.7.15

日　　時：2021 年 7 月 15 日（木）19：00 ～ 22：15
場　　所：オンライン開催のため各自自宅・職場
出席理事：神保武則（会長）、田中ゆかり（副会長）、金山桂（副会長）、吉本雅一（事務局長）、玖島弘規、佐々木秀一、奥原孝幸、佐藤隼、遠藤陵晃、野本義則、神田崇央、佐藤範明、戸塚香代子、木村修介、望月強併、澤口勇、西川航平、大郷和成（18 名）
出席監事：錠内広之（1 名）
欠席監事：野々垣睦美（1 名）

Ⅰ．会長より挨拶

1．第 2 回理事会開催にあたって
本日も円滑な進行にご協力をいただきたい。

Ⅱ．報告事項について

1．地域支援事業における臨時 WEB 研修会について
遠藤・西川理事より地域包括ケア・地域支援事業に関する今般の動向、多団体と協調しつつ「OT の売り」を売り込むための具体的戦略、人材育成活用等について説明・報告。認知症がキーワードとして挙がっている。認知症対策委員会とも連携していく。

2．科学的介護情報システム（LIFE）説明会について
野本理事より介護保険制度を取り巻く背景、LIFE について、令和 3 年度介護報酬改定（LIFE に係る運用事項）について説明・報告。

【各部署】

1．教育部　奥原理事
（1）今年度以降の県士会裁量ポイント付与に関して
今年度も昨年度同様に県士会にて一括申請とする。公文書（理事・役員、部員・委員、審査員、講師、地域事業への専門職派遣など委嘱状の発行を伴う活動）発行部署（事務局、学会評議委員会）は発行ごとに名簿を作成し年度末一括して教育部奥原宛に送付手続。

2．制度対策部　野本理事
（1）第 48 回度国際福祉機器展 H.C.R.2021 福祉機器相談コーナー協力について
東京都作業療法士会よりブース協力依頼あり。福祉用具対策事業班にて対応する。

3．規約委員会　神田理事
（1）メール審議について
（ア）定款第 48 条の『権能』に明記されている事項
理事会にて審議する事が必要。やむを得ず早急な審議が必要な場合は、事前に理事 ML にて理事・監事の意見聴取をして反対意見がなければ、『参加可能な理事が半数以上いる日程を調整し臨時理事会を開催し決議をとる』。
（イ）それ以外の事項について
現行通り理事 ML にて『意見聴取』し理事全員から承認と監事の異議が無ければ、三役に委ねる。
また次回理事会の議事にて再確認し議事録に明記することとする。なお 1 人でも反対意見がある場合は理事会で審議する。

4．ウェブサイト管理委員会　佐藤範明理事
（1）県士会サイトコンテンツ更新に関して
絵本でみる作業療法のコンテンツ内に動画で見る〈解説編〉が完成公表。

5．学会評議委員会　戸塚理事
（1）第 18 回神奈川県作業療法学会について
（ア）県学会予算案の改定について
オンライン開催のみに変更するにあたり企画や運営方法を練り直している。合わせて撮影のための備品や、配信のためのシステム料などの見直しを行ったので予算案を変更する。

6．財務部
（1）活動報告
各部署会計担当者を取り纏めた。
通帳とカードは名義変更しだい順次発送予定
（2）会計説明会
7 月 16 日より開催予定（全 3 回）

【理事】

1．金山理事より
（1）選挙ワーキンググループより
課題とスケジュールについて検討
（ア）課題について
選挙管理委員会の組織的な位置づけが明記されていない。
選挙管理委員会に関する規定の見直し、内規・マニュアルの整備がされていない。
（イ）今後の流れについて
組織的な位置づけについて検討。

選挙に関する規定・内規・マニュアルを作成
代議員選挙スケジューリングについて検討。
(2) 研修会ワーキンググループより
参加費の納入を正確に行うためにオンライン決済システム（解約金なし）を導入する。
オンライン決済システム Peatix を導入し学術部の 10 月研修会より運用開始予定。
参加区分について、会員の確認方法ついて検討中。
(3) 医療専門職連合会総会について
6 月 16 日（木）総会出席
すべての議案が質問事項もなく承認。第 3 号議案により作業療法士会の脱会が承認された。
2．田中理事より
(1) 地域医療介護総合確保促進法に基づく神奈川県計画（令和 4 年度分）に位置付ける事業のアイデア募集について
田中副会長と望月理事で 1 週間を目途に案を作成し神奈川県に提案する。
(2) 地域活動支援ワーキンググループより
(ア) 進捗状況の報告
会員個々へのバックアップ体制を検討。
→地域支援事業の窓口担当を置くことを検討。
今後の展開
・エリア化の事業で地域の人材発掘。
・代議員アンケートで地域支援事業の実態や意識の調査を行う。
・県士会で行う研修会で地域支援事業に携わる人材育成
(イ) 今後の検討課題
・目的の明確化　地域活動支援のビジョン
・方法　担当部署やエリア長の検討など
・情報の整理
各地域状況など収集できている情報の共有
(ウ) その他
大郷・西川理事が代議員向けアンケートを作成

【三役】
1．吉本事務局長より
(1) 三役会での検討議題について
(ア) SNS 関連
広報部、ウェブサイト管理委員会にて使用方法のルール等に関して案を検討する。
(イ) 各部署によるインターネットバンキングの利用不可。県士会全体の口座の操作が可能なため。
(ウ) 対外広報班からの相談
オリンピック・パラリンピックのボランティアを県士会の事業としては行わない。
→活動までの期間が非常に短く COVID-19 への対応を責任を持って行えないと判断。
会員個人が賛同し参加することは構わないが、その場合には下記の事項について依頼主に確認をすることを条件とする。
A　参加者の条件
COVID-1 ワクチン接種が完了した者に限る
B　感染対策の確認
当日の感染予防対策については適正か（国の基準に従っているか）
(エ) 後援依頼に関する事項
共催・協賛・後援については理事会審議事項となる。
(オ) 福利部新企画
関係部署と連携して企画内容を具体化する。
(カ) 新規提案事業計画のフォーマット
金山副会長にてフォーマット案を作成し提案
(キ) 県士会活動オンライン関連機材の貸し出し
提案者の野本理事を中心に必要な物品・費用・管理・貸出方法について検討し提案する。
(2) 介護予防ワーキンググループ委員推薦について
任期満了に伴う委員の推薦　木村理事を継続推薦する。地域リハビリテーション部署担当の遠藤・西川理事と適宜連携協力する。
(3) 神奈川県リハビリテーション協議会委員推薦について
任期満了に伴う委員の推薦　田中副会長を推薦する。
2．田中副会長より
(1) 事業評価と 2022 年度事業計画について
事業評価フォーマットは達成度（%）を評価し示す。次回理事会ではシートを基に事業評価を報告する。
三役会理事会資料と同じく 8/11 までに提出。
3．神保会長より
(1) 中・長期計画について
計画案を提案説明。神保会長より理事メールにて
理事より質問・意見を聴取する。
(2) 第 17 回神奈川県作業療法学会について
事業実績報告書が未作成未送付であった。第 18 回神奈川県作業療法学会の後援依頼の辞退で発覚。
第 17 回神奈川県作業療法学会にて後援をいただいた団体で未送付の団体（9 団体）に「事業実績報告書」「関連資料」「御詫び状」を作成し送付。辞退をいただいた団体からは改めて受託の回答をいただいた。
4．金山副会長
(1) 渉外活動報告書について
理事として活動（会議出席、研修会出席、講師、専門職助言者などの活動に従事）した際必ず報告書を提出。

Ⅲ．審議事項について
1．横浜市障害区分認定審査会委員候補の推薦→承認
任期満了に伴う委員の推薦
小林明希子氏（アンフルール）、青木明子氏（クラブハウスすてっぷなな）、沼田一恵氏（自宅会員）3 名推薦
2．各部署部員・委員承認について→承認
3．後援依頼について
(1) 茨城県作業療法士会学会、ブロック学会への後援
名義使用申請→承認
(2) 第 10 回日本精神科医学会学術大会への後援名義
使用申請→承認
4．絵で見る作業療法の周知に関して→承認
作業療法啓発を進めるため県内の養成校のオープンキャンパス等で活用を検討。周知啓発の運用及び送付に関する方法の審議

Ⅳ．提案事項について
【各理事からの提案】
1．テクノエイド協会「福祉用具・介護ロボットの開発・実証フィールド」の当会登録について
木村理事より提案
県士会事業や会員の所属現場での実証フィールドとしての活用を行うことで、福祉用具やロボット開発に貢献するだけでなく、最新のテクノロジーの情報を入手し会員に提供することが期待できる。制度対策部福祉用具班と相談し改めて今後の進め方を理事メールや理事会で共有し意見を募る。
2．会員増加に向けたプロジェクトについて
澤口理事より提案。
企画調整を取りまとめるマネジメントチームが必要。澤口理事より理事 ML で理事の質問・意見を聴取。
3．40 周年記念事業について
三役より提案。
本年で当会は 40 周年を迎えている。40 周年記念事業をコロナ禍の中でも可能な範囲内容で開催したい。「会員の凝集性を高める記念事業」のアイデアについて各理事より意見を募集する。田中副会長が取り纏める。

Ⅴ．その他　連絡事項等
1．部員承認のための手続きについて
住所変更、会費の納入、入会など手続きに関しては前月までに完了している会員が対象。
事務局と会員内容照会が完了すれば正式に部員承認審議が可能となる。申請の締め切りは三役会までとする。
2. ホームページ情報更新について
ML、ブログの継続、各部署変更点はマニュアルに沿ってウェブサイト管理委員会へ提出。
3. 監事より
本日の理事会を通して今年度の活動がいよいよ本格化してきたことが理解できた。しかし、多様な報告や審議、意見があることは活動が積極的に行われていることではあるが、会議に要する時間が 3 時間を超えるのは非常に長く役員の負担が重い。会議時間は 2 時間をめどとして、三役は会議の内容や進行のマネジメントを見直し、各理事は円滑に理事会が進行できるよう発言内容を精査し、より一層の協力をお願いしたい。　以上（文責：事務局長　吉本 雅一）

★ 2021 年度第 3 回理事会　議事録　2021.8.22

日　　時：2021 年 8 月 22 日（日）13：00 ～ 16：05
場　　所：オンライン開催のため各自自宅・職場
出席理事：神保武則（会長）、田中ゆかり（副会長）、金山桂（副会長）、吉本雅一（事務局長）、玖島弘規、佐々木秀一、奥原孝幸、佐藤隼、遠藤陵晃、野本義則、神田崇央、佐藤範明、戸塚香代子、木村修介、望月強併、澤口勇、大郷和成（17 名）
欠席理事：西川航平（1 名）
出席監事：野々垣睦美（1 名）　欠席監事：錠内広之（1 名）

Ⅰ．会長より挨拶
1．第 3 回理事会開催にあたって
様々な課題について一緒に考え話し合い共に円滑な進行にご協力をお願いしたい。

Ⅱ．報告事項について
【各部署】
1．福利部（金山理事）
(1) 県士会表彰について（最終報告）
以下の方々から表彰受諾をいただき最終決定した。
石井政江氏（康心会　THP メディカルクリニック）
鳥家朋子氏（自宅会員）
山﨑文子氏（横浜市総合リハビリテーションセンター）
北島智恵子氏（藤沢病院）
中西理佐子氏（横浜南共済病院）
杉山いずみ氏（鎌倉療育医療センター小さき花の園）
城下絵里香氏（神奈川県立精神医療センター）
三田美貴氏（横浜市立脳卒中・神経脊椎センター）
【理事】
1．金山理事より
(1) 選挙管理委員会ワーキンググループ
2021 年度実施予定の代議員選挙についてマニュアルを検討中。

（2）研修会ワーキンググループについて
オンライン決済導入に必要な会計区分と会員確認を中心に意見交換を行った。研修会マニュアルについては更新作業中。

2．田中理事より
（1）地域活動支援ワーキンググループより
ア）地域支援事業の実態調査
9月：理事・監事、部員、代議員向け
12月：一般会員向け
イ）地域支援事業の窓口担当および PR について
OT 活用推進リーフレットを作成
ウ）今後の展開
代議員への意見聴取について検討する。
次年度予算と担当部署の検討

3．澤口理事
（1）リハ手帳（仮称）PTOTST 合同会議について
リハビリ手帳の基本方針を確認
「セラピストがリハビリを施すために必要と想定したものではなく、本人や家族が生活していく上で多職種にも情報伝達し本人達も役立つようなツール」

【三役】
1．田中副会長より
（1）40 周年記念事業について
今年度が当会 40 周年を踏まえて提案
ア）現在行っている事業を集約活用して皆が参加できる 40 周年記念事業として開催したい。
イ）参加費を無料とし、会員だけでなく学生や他団体なども含めて誰でも参加できる
ウ）40 年間継続してきた事とこれから何を目的に事業展開していくのか記録を残す
これらを今年度中の開催に向けて準備して実行
→一案を提案し理事より企画意見を募集する。
周知のため広報戦略を強化する必要がある。
→ホームページトップでイラストやロゴを使用
県士会ニュースでの広報、養成校とのコネクト
その他広報は各種 SNS ツールの使用を検討

Ⅲ．審議事項について
1．各部門　部員承認について→承認
2．中・長期計画ウェブサイト掲載について→承認

Ⅳ．提案事項について
【各理事からの提案】
1．「会員数増」に向けたプロジェクト（横ぐしの企画立案）の早急な立ち上げについて
澤口理事より提案あり。ワーキンググループを発足し多数の理事が協働する

Ⅴ．事業評価・計画について
1．各部署より発表・質疑応答
まとめ：神保会長より
来年度の方向性を共有できた。会員との窓口としてエリア化推進は鍵となる。また県民との窓口は公益法人化対策となると考えられる。広報戦略については時代背景や社会情勢に合わせて変化させていく必要がある。対象や方法、運用方法を含めて現在検討しているので決定次第運用していく。予算は概算で今年度よりも少ない見積もりとなった。今後も引き続きオンラインを活用していくことで予算の削減は図れると考えられる。新たな事業提案については企画書を活用してほしい。引き続き事業計画については期限を設けて質問意見を理事メーリングリストで募集する。

Ⅵ．その他　連絡事項等
1．茨城県士会より代議員制度についての質問依頼
三役にて回答する。理事メーリングリストで共有。
2．監事より
コロナ禍が続く中オンラインを上手に活用して費用を削減できている。事業評価・計画を通じてその進捗状況の振り返りや他部署との連携調整の必要性が見える化できたことは有意義だったと感じる。引き続き検討をお願いしたい。　以上（文責：事務局長　吉本 雅一）

2021年度理事会 部員承認リスト

7月度理事会

【教育部】

福田	舞	藤沢病院
大場	文	介護老人保健施設 アゼリア
石井	有希	横浜リハビリテーション専門学校
金子	康	介護老人保健施設 湘南わかば苑
菊地	康子	県央福祉会企業応援センターかわさき
木村	亮太	磯子中央病院
荒井	裕大	梅沢整形外科
関口	直也	けいゆう病院
髙林	剛	仁和会総合病院
金木	貴芳	自宅会員
磯貝	優花	県央地域就労援助センター
川本	ひかり	日向台病院
山本	真理子	介護老人保健施設コスモス
鈴木	香苗	関東病院
杉村	直哉	神奈川県立保健福祉大学
平本	悠祐	横浜舞岡病院
加藤	実帆子	川崎市中央療育センター
関	春海	シャローム港南

【広報部】

山岡	洸	医療法人健育会 湘南慶育病院

【福利部】

小砂	哲太郎	久里浜医療センター
古賀	誠	昭和大学保健医療学部

【地域リハビリテーション部】

小松	瑛里	株式会社彙 生活ケア・リハビリ ここち

【制度対策部】

籾山	利奈	イムス横浜狩場脳神経外科病院

【学会評議委員会】

須鎌	康介	湘南医療大学
一木	愛子	神奈川リハビリテーション病院 （所属変更のため再承認）

【地域包括ケアシステム推進委員会】

山岡	洸	医療法人健育会 湘南慶育病院

8月度理事会

【学術部】
査読委員

1581	坂本　俊夫	東京保健医療専門職大学
1297	藤本　幹	国際医療福祉大学小田原保健医療学部
24344	佐々木祥太郎	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院リハビリテーション部
14666	増山英理子	昭和大学保健医療学部作業療法学科
6392	澤口　勇	医療法人社団清心会 訪問看護ステーション レンゲの花
4414	篠崎　雅江	社会医療法人社団 三思会 神奈川県立さがみ 緑風園診療所
1844	坂本　安令	横浜市立大学附属市民総合医療センター
3889	早川　裕子	横浜市立脳卒中・神経脊椎センター
15077	福留　大輔	横浜旭中央総合病院
6162	田邉　浩文	湘南医療大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法専攻
18165	窪田　聡	国際医療福祉大学小田原保健医療学部
14464	鈴木　雄介	湘南医療大学保健医療学部リハビリテーション学科作業療法専攻
4758	中西理佐子	横浜南共済病院
34225	丸山　祥	湘南慶育病院リハビリテーション部

【福利部】

944	畠中佳代子	藤沢市民病院

【エリア化推進委員会】

20757	和田　尚	医療法人社団綾和会 間中病院

9月度理事会

【学術部】
学術誌編集班

46287	中島　恵美	医療法人社団三喜会鶴巻温泉病院リハビリテーション部

査読委員

28090	佐々木洋子	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

【教育部】

89519	齋藤　七海	神奈川病院
89173	高橋　玲	麻生リハビリ総合病院
87703	瀬口　結風	江田記念病院

【選挙管理委員会】

42557	池田　公平	神奈川県立保健福祉大学
61336	廣瀬　智哉	東戸塚記念病院
81954	赤羽　竜馬	よこすか浦賀病院
81793	白井　瑠香	東戸塚記念病院
67058	小竹　克郁	湘南慶育病院

＼ 各部からの報告 ／

▶教育部

（文責：奥原 孝幸）

連載！「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」★目指せ！認定作業療法士、専門作業療法士

このコーナーは、県士会教育部関連の情報を毎号ご案内しています。今回はこれからでもまだ間に合う研修会をご案内いたします。県士会ウェブサイトからお申し込みができます。

1．現職者共通研修

①令和４年３月６日（日）「事例検討」・「事例報告」（事例検討会）

2．現職者選択研修

①令和４年２月13日（日）身体障害領域

②令和４年２月27日（日）精神障害領域

3．臨床実習指導者講習会

①第４回　令和４年２月５日（土）～２月６日（日）

ご不明の点はどんなことでもご連絡ください。
教育部　奥原 孝幸（神奈川県立保健福祉大学）
046-828-2738（直）、okuhara-sp8@kuhs.ac.jp
県士会ウェブサイトからも質問ができます。

▶地域包括ケアシステム推進委員会

横浜市リハビリテーション活動支援事業Web説明会②

（文責：地域包括ケアシステム推進委員会・エリア化推進委員会）

平成27年からスタートした横浜市地域リハビリテーション活動支援事業は今年で６年目に突入致しました。横浜市地域リハビリテーション活動支援事業では、横浜市の自主グループや地域ケア会議に作業療法士を派遣して、地域住民の健康増進を推進しています。平成27年から延べ300件の依頼に作業療法士を派遣しています。年々作業療法士の派遣依頼数は増加傾向にあり、より多くの作業療法士に参画して頂きたいと思っております。

そこで、多くの方にやりがいある事業を知って頂きたくWeb説明会を開催することになりました。是非皆様のご参加を心よりお待ちしております。

記

主　　催：地域包括ケアシステム推進委員会
日　　程：①１月19日（水）事業概要編
　　②１月26日（水）通いの場／地域ケア会議編
　　③２月２日（水）ケアマネジメント編
時　　間：20：00 － 21：00
参 加 費：無料
申し込み：県士会HPの「講習会・研修会」ページよりお申し込み下さい（県士会員に限る）

参考までに、この事業に参画している作業療法士の皆様の感想をご紹介致します。

「地域を知るきっかけになった」
「臨床とは違う関わりが新鮮だった」
「病院外で活動する機会が得られた」
「集団の前で話す力が身についた」
「地域の方や行政の方との繋がりができた」

▶学術部研究助成班　2021年度の研究助成事業の支給者決定

（文責：佐々木 洋子）

本年度の申請者は、研究Ⅰ（研究組織２法人以上の一般会員）が１名、研究Ⅱ（研究代表者は免許取得７年目以下で、研究組織は１法人以上）が１名の計２名でした。書類審査および合議審査の結果、下記の２名に対し助成金を支給することになりました。

学術部では全県士会会員に対し、積極的に研究を支援する体制を作っていきたいと思っております。来年度も研究にチャレンジしてみたい方、若手の方などの多くの応募をお待ちしております。

研究組織	氏　名	所　属	研究内容	助成金額
研究Ⅰ	田原　正俊	済生会東神奈川リハビリテーション病院	感染症拡大における活動自粛があたえる作業的公正／不公正への影響	180,600
研究Ⅱ	長　　志保	国際医療福祉大学小田原保健医療学部	Flex controllerを用いた介入が上肢機能障害を抱える対象者のゲームへのアクセシビリティに与える効果の検証	199,030

▶学術部スキルアップ研修班

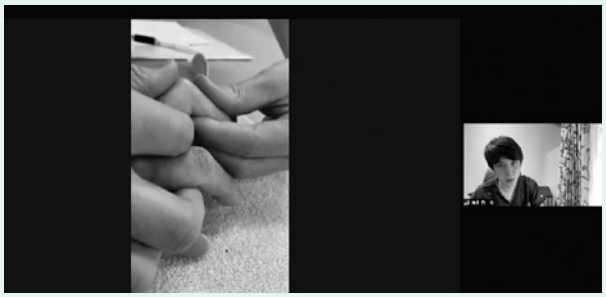
（文責：加世田 翼）

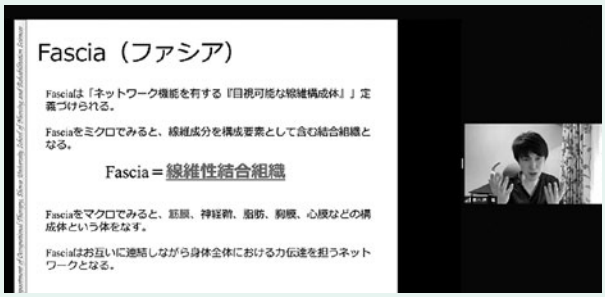
『臨床で把握しよう！手指の評価と治療～拘縮の病態とそのアプローチについて～』の活動報告

令和３年９月 26 日の学術部主催スキルアップ研修は Zoom によるオンラインセミナーで開催され、63 名（県外 10 名）と大変多くの方が参加して下さりました。今回は作業療法士の青木啓一郎先生をお招きして、手指の評価と治療を誰もが一度は悩んだ事のある“拘縮”に焦点を当て講義をして頂きました。

講義内容として手指の評価、拘縮の病態生理・鑑別、アプローチを運動器疾患や脳血管疾患それぞれの特徴を踏まえて説明して下さりました。先生が臨床の中で培ってきた考え方や拘縮に対する治療の基本から応用までを丁寧に講義して下さり、スライドだけでなく動画や実演を織り交ぜて説明して下さったのでイメージもしやすかったのではないでしょうか。また昨今、話題となっている Fascia による制限要因についても触れて頂き、新人からベテランまで最新知識のアップテートができる内容だったと思います。

今回の講義は多くの事前質問が寄せられた為、先生にはスライドを作成して頂きそのすべてにお答えして頂く事が出来ました。学術部のスキルアップ研修班では知識のアップデートだけでなく臨床での悩みが１つでも解決できるような研修会を今後も開催していければと思います。





▶公益法人化対策委員会

（文責：澤口 勇）

公益法人化対策委員会主催の講演会を準備中です！

2022 年２月 27 日（日）午後、ZOOM をもちいて講演会（広く県民を対象とした公益事業）を企画中です。

詳しくは県士会サイト等にてお知らせします！ぜひチェックして下さい！

求人案内　作業療法士募集

100 年以上にわたり地域住民に愛されてきた病院です。排泄チームや摂食嚥下チームなどリハビリと病棟が一丸となる取り組みを実施しています。スタッフの半数以上が中途入職の職員で色々な経験を学び合えます。

募集人員：若干名
施設概要：回復期リハビリ病棟、地域包括ケア病棟、外来リハビリ、訪問リハビリ
待　　遇：当法人規定により優遇します。昇給年１回、賞与年２回
勤務時間：８：20 ～ 17：10（残業はほぼなく、従業員満足度調査でも 95％がライフワークバランスについて満足してます）
休日休暇：４週９休（年間 111 日）慶弔、産休育休、子の看護休暇あり
そ の 他：提携先の企業主導型保育所の利用可能。外部研修保障制度あり。リハビリに特化した E ラーニングを法人契約しており自宅でも視聴可能
応募方法：当院 HP から申し込み、もしくは下記連絡先までご連絡ください
応 募 先：医療法人社団綾和会　間中病院
〒 250-0012
神奈川県小田原市本町 4-1-26
電話 0465-23-3111
E メール：manaka.riha@gmail.com
リハビリテーション部：副部長　足立 雄介

事務局からのお願い

- **休会される方**　来年度に休会予定の方は、前年の**12月31日**（末日消印有効）までに ①『休会届』と ②『証明書』を 郵送 でご提出願います。**（FAX不可）**。
- **退会される方**　年度内に退会予定の方は、**3月15日**までに『退会届』を ①郵送 又は ②FAX にてご提出願います。**（上記日必着）**。
- **届出内容を変更される方**　住所・勤務先・氏名・送付先等の変更がある方は、『変更届』を ①郵送 又は ②FAX にてご提出願います。（随時受付）

届出書類は、神奈川県作業療法士会ホームページ**公式ウェブサイト**のINDEXより、ダウンロード可能です。
なお期日までにご提出いただけない場合は、次年度の会費が自動引落しとなり、返金を致しかねます。

LINE公式アカウント　はじめました！

県士会の活動を皆様にお伝えする方法として、『神奈川県作業療法士会公式 LINE』を開設することになりました。県士会が主催する研修会情報や各種イベントのご案内、取り組んでいる事業に関することなどをリアルタイムに発信していく予定です。神奈川県内で行われている作業療法について分け隔てなく多くの人に情報をお届けすることで、人と人とをつなぐきっかけになれたらと思います。QR コードから『友だち登録』をしていただき、お近くの方にも是非ご案内ください。

ご不明点やお問い合わせについては、公式 LINE 上でのメッセージ（トークに入力すると投稿者と担当者とのプライベートメッセージとしてやりとりできます）やアカウント管理担当者まで（E-mail：official-line@kana-ot.jp）ご連絡いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記

寒さも本格的になってまいりました。編集後記を書いているこの時期はコロナ感染者数も減少傾向ですが、また少しずつ増加してきていますかね。わたしはこのお家時間で初めてスラムダンク、ワンピースなど王道の漫画を制覇したり、断捨離をしたり、料理のレパートリーを増やしたりと意外と楽しんで過ごしていました。みなさんのおすすめのお家時間の過ごし方はありますか？　（ゆず）

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ニュース
〈212号〉2021年12月発行（年3回発行）

発行責任者　神保 武則
編集責任者　佐藤 隼
編 集 担 当　出口 弦舞（国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科）
山岡 洸（湘南慶育病院）／佐藤 愛（悠の木株式会社）／安田 優子（横浜旭中央総合病院）
丸岡 ちひろ（済生会横浜市東部病院）／松井 洋鷹（渕野辺総合病院）
碇屋 瑛理（佐藤病院）／岩居 洋輝（佐藤病院）
印刷　発送　株式会社髙陽印刷所
事　務　局　〒231-0011 横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301 号
TEL/FAX：045-663-5997
月火水木金　10：00～15：00
メールアドレス：jimu@kana-ot.jp
一般社団法人　神奈川県作業療法士会ウェブサイト
https://kana-ot.jp ➡ 作業療法　神奈川　検索
Facebook　https://www.facebook.com/kaotwebkan
Twitter　https://twitter.com/kaotwebkan